

次世代自動車の普及に向けた事業展開について

京都市では、電気自動車が市場投入される時期に合わせ、電気自動車やプラグインハイブリッド車といった次世代自動車の普及を推し進め、サポートする事業を展開します。

具体的には、①政令指定都市で最多となる40基の充電設備の整備や、②タクシー・レンタカー事業者への普及支援、③公用車への電気自動車導入とカーシェアリング、④PRイベントの開催といった多彩な普及策に取り組みます。

1 基盤整備 ～ 市内各所、全行政区に計40基の充電設備を整備 ～

市民の皆様が気軽に、安心して電気自動車を利用できる環境を整えるため、**全行政区の公共施設33箇所に、政令市最多となる合計40基の充電設備を整備**します。

(1) 充電設備の種類・数・整備スケジュール

- 走行時だけでなく充電時もCO₂を排出しない「**カーボンゼロ自動車**」を目指した取組として、**太陽光発電付きの充電設備を6基設置**。
- 6基中**2基は、太陽光発電と蓄電機能を兼ね備えた全国初の充電システム**。
- 30分でフル充電が可能な急速充電設備を3基設置。緊急時の充電にも対応できる。

種 類		設置数	整備スケジュール
充電設備(200V, 通常タイプ)		31基	8月中に整備完了(予定)
太陽光発電付き充電設備 (200V)	蓄電機能あり	2基	9月以降, 順次設置 今年度内に整備完了(予定)
	蓄電機能なし	4基	
急速充電設備(500V)		3基	
合 計		40基	—

☆ 充電設備の種類ごとの解説は、**別紙1**を参照。

(2) 設置場所

市役所・区役所など、市内各所の公共施設33箇所に設置。詳細は、**別紙2**を参照。

(3) 充電に伴う電気料金

無料

2 タクシー・レンタカー事業者への普及支援 ～ 市民・観光客の足を次世代自動車に ～

タクシー・レンタカー業界を対象に、電気自動車、プラグインハイブリッド車の導入を支援します。

府市協調の事業で、本年8月から実施します。

(1) 補助対象

タクシー・レンタカー事業者及び両事業者へ車両のリースを行う事業者

(2) 補助額

電気自動車 … 1台につき上限30万円(京都府との合計で上限60万円)

プラグインハイブリッド車 … 1台につき上限15万円(京都府との合計で上限30万円)

(3) 申込み

ア 申込み期間

平成21年8月3日～平成22年2月1日

イ 申込み方法

車両購入前に、京都市環境管理課(☎213-0930)又は京都府環境政策課(☎414-4703)に詳細を確認の上、申請してください。

※ 購入後の車両は、対象外となります。

(4) 補助件数

電気自動車、プラグインハイブリッド車ともに、先着10台

3 電気自動車の購入と市民・事業者とのカーシェアリング ～京都市役所の率先実行～

電気自動車「i MiEV」を三菱自動車から5台購入し、市民・事業者・行政が共同利用する「カーシェアリング」を行い、幅広く活用します。

(1) 車種

電気自動車 三菱「i MiEV」(軽自動車)

(2) 車両のラッピング **【別紙3】**を参照

「DO YOU KYOTO?」プロジェクトのデザインでラッピング。

日本を代表するグラフィックデザイナー松永真氏がデザインを制作。

(3) カーシェアリング事業

現在、事業の設計を進めているが、

① 平日は公用車として利用し、休日には市民に無料でレンタルするなど、市民と行政が共同で利用する

② 複数の事業者間での共同利用に活用する などを行う予定。

4 普及PRイベントの開催

電気自動車を見て、知って、乗って、環境性能に触れていただくイベントを開催し、市民・事業者の皆様に広くPRします。

(1) 『次世代自動車キックオフ&コンサート』

ア 日時 平成21年8月18日(火) 午後4時～5時

イ 場所 京都駅前広場

ウ 内容 京都市・府が使用する電気自動車の紹介
消防音楽隊による演奏 など

エ 主催 京都市・京都府

(2) 『次世代自動車試乗フェスタ with 京都サンガ F.C.』

- ア 日時 平成21年9月5日(土) 午後1時～3時
イ 場所 西京極総合運動公園
ウ 内容 試乗会
次世代自動車などのエコカー展示
京都サンガ F.C. 選手と一緒に試乗体験
京都サンガ F.C. 選手のサイン会 など
… イベント内容の詳細は、別紙4を参照。
エ 主催 京都市
オ 協力 京都サンガ F.C.

5 総事業費

上記1～4の総事業費は、1億900万円【うち、国庫補助 7,250万円】

… 環境省が環境モデル都市に対して措置する国庫補助「環境共生地域づくり補助金」等を活用できることとなり、当初予算編成時に比べ、事業を充実している。

	当初予算編成時	現時点
上記1～4の 総事業費	4,400万円	1億900万円
うち国庫補助	750万円	7,250万円
基盤整備	35基	40基 太陽光発電付きの充電設備や、 急速充電設備も設置。

6 CO₂削減効果

京都市内の自動車保有台数 約60万台

例えば、その10%が電気自動車に切り替わった場合 … 年間△10万トンのCO₂削減
更に、その充電を全て太陽光発電で行った場合 … 年間△4万トンのCO₂削減

合計 … 年間△14万トンのCO₂削減

この削減効果14万トンは、家庭からの年間CO₂排出量の26,000世帯分に相当する。

※ 1世帯当たりのCO₂排出量は年間約5.35トン

(平成19年、出典：全国地球温暖化防止活動推進センター)